

センターだより

9月号

令和5(2023)年9月29日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター



教育センターは南千里に移転します!

現在、出口町にある教育センターは、令和6年4月より「吹田市総合防災センター」(南千里駅前)、通称D R C (Disaster Reduction Centre Suita)に移転します。同施設8・9・10階が教育センターの施設です。教育支援教室「光の森」「学びの森」、教職員の研修室、教育相談(来所相談)で利用する部屋を設置予定です。

令和6年度より来所の際は場所の間違いないようご注意ください。新しい住所等は、分かり次第お知らせ致します。

Leading Teachers 令和5年度 吹田市の指導教諭等

学校名	氏名	指導内容	学校名	氏名	指導内容
		国語			栄養教諭(食育)
		体育・保健体育			算数・数学
		養護教諭(保健)			外国語活動
		音楽			特別支援教育
		外国語			算数・数学
		養護教諭(保健)			国際理解教育
		算数・数学			社会
		音楽			国際理解教育
		特別支援教育			養護教諭(保健)
		生活			技術・家庭
		養護教諭(保健)			養護教諭(保健)
		音楽			

指導教諭の役割

『指導教諭は、児童の教育をつかさどり、並びに教諭その他の職員に対して、教育指導の改善及び充実のために必要な指導及び助言を行う。』(学校教育法)

指導教諭等は、優れた指導力を生かして、師範授業を行うなどにより、指導方法の改革に力を発揮することが期待されています。市内ではこれまで右記のような場面で活躍いただいています。

- ①勤務校及び中学校ブロックでの授業公開
- ②勤務校における公開授業への指導・助言
- ③市内各学校の教職員に対する授業改善等の指導
- ④研修等での師範授業・指導・助言
- ⑤教育センターの研修の講師
- ⑥経験の少ない教職員への指導的役割

スーパーティーチャー研修報告と募集

報告

スーパーティーチャー研修

小学校国語科の師範授業と講演

「資質・能力の獲得に導く物語の授業づくり」

講師：明星大学 教授 白石 範孝

スーパーティーチャー研修を実施しました。明星大学教授の白石範孝先生を招聘し、前半は「モチモチの木」の教材をもとに小学校5年生で師範授業を、後半は「資質・能力の獲得に導く授業づくり」と題し、お話いただきました。

今回の師範授業は、**中心人物**が**出来事・事件**によって、**変容**する・になる話の「一文で書く」活動から中心人物の変容を読む授業でした。「一文で書く」活動から、中心人物である豆太は変容している?していない?という「思考のズレ」が発生します。そこから以下のような問いが生まれました。

「中心人物」は豆太なのか?豆太は「変容していない」のではないか?最後におくびょうにもどっているのはなぜ?

これらの問いを、「中心人物のこだわり」から論理的に解決していきました。子供達は、白石先生の洗練された仕掛けにより「モチモチの木」に没頭し、考え続けるあつという間の45分間でした。

また、講演では、学習指導要領に示される資質・能力の育成を目指すために、「教材で教える」、「考える国語」の授業の重要性についてお話いただきました。教材の内容の読みを通して、「読みの10の観点」を子供達に獲得させることで、汎用的な力を育成することの大切さを改めて学ぶことができました。

[受講者の感想]

- 中心人物のこだわる視点が新しい学びでした。変容を探す授業には取り組んできましたが、子供達に伝えていく一つの方法にしたいです。子供たちが自由に読む視点も大事にしていき、それを広げて深めていきたいと思います。すごく勉強になり、次の物語文の指導が楽しみになりました。
- まだ1年目で指導書通りに授業を進めるのに精一杯の毎日です。今回の授業を受けて、もっと深く面白い国語の授業を行いたいと強く思いました。今「まいごのかぎ」に取り組んでいるので、中心人物の気持ちの変容点を授業で扱おうと思います。

報告

スーパーティーチャー研修

—授業づくりからクラスづくりまで—

募集

尾崎先生に学ぶ 5回シリーズ研修

講師：関西大学初等部 教諭 尾崎 正彦

- 第1回 講演「楽しい算数・数学の授業づくりの条件と模擬授業準備」
- 第2回 講演・模擬授業「授業の見方と模擬授業選手権」
- 第3回 師範授業 第5学年「割合」
- 第4回 師範授業 第2学年「かけ算(3)」
- 第5回 講演「ビデオ分析を通じた授業研究会」

「目の前の子ども一人ひとりが自分の考えをもち、行動ができるためにはどうすればよいか?」そのような授業を実現するため、小・中学校から34名の先生方が、5回シリーズ研修に手を挙げました。第1回の研修では、子供が自ら動き出す授業をつくるための条件について尾崎先生から学び、それをもとに、学年ごとのグループで自身の教材研究に取り組みました。実際に2学期に行う授業なので、先生方も切実です。そして第2回の研修では、模擬授業選手権と題し、第1回でつくった授業の模擬授業を行いました。今後、その授業が実際に子供達に行われる様子を撮影します。第5回の研修では、授業研究会を行い、授業を見る視点を鍛えます。このシリーズ研修の流れが、「主体的・対話的で深い学び」そのものです。受講者のアンケートの満足度も100%が続きました。さて、そのような学びに先生方も参加しませんか?尾崎先生ご本人による師範授業と講演が行われます。是非、一緒に学びを深めましょう!

[受講者の感想]

- 楽しい算数授業の3条件(①ズレを演出②子どもに任せる③任せたら展開を修正する)の大切さを尾崎先生の授業動画を見つつ、改めて、確認することができたので良かったです。どうしても自分の用意していた流れに、子供を持っていこうという課題が私自身にあるので、②③を強く意識し、楽しい算数授業づくりを目指したいと思えました。
- 模擬授業を各学年で見せていただいているいろいろなアイデアや引き出しがあり、展開や声かけの仕方を学ぶことができた。「目の前の子どもの声で授業を創り上げる」という言葉が印象に残りました。つぶやきを価値づけできるようにしていきたいです。

教育センターの教育相談

吹田市立教育センターでは、子供や保護者、教職員の相談に応じるため、臨床心理士と公認心理師の資格をもつ「教育相談員」を配置し、教育相談事業を実施しています。次に、教育センターの教育相談事業について説明していきます。まず、どの相談においても対応している主訴は同じになります。例えば、不登校や学習、発達課題や人間関係など、教育上起こりうる問題等が考えられます。もし、教育相談に当てはまるのかどうか不明な場合は教育センターまでご相談ください。

① 来所相談(教育センターにて実施する相談)

対象:市内在住の3歳~18歳の本人または保護者
 日時:月~金曜日及び第3日曜日の午前9時~午後5時
 ※木曜日は午後9時まで
 ※事前予約が必要(06-6384-4488)

② 電話相談(電話にて実施する相談)※単発のみの相談

対象:市内在住の3歳~18歳の本人または保護者
 日時:月~金曜日及び第3日曜日の午前9時~午後5時
 ※通常の相談→06-6384-4488
 いじめの心のなやみ相談→06-6337-5411

③ 出張教育相談(小学校にて実施する相談)

対象:各小学校区の園児・小学生・中学生・保護者・教職員
 回数:各小学校に年間14回~20回派遣
 ※予約は各小学校もしくは
 教育センター(06-6384-4488)に電話。

④ スクールカウンセラー(中学校にて実施する相談)

対象:各中学校区の小学生・中学生・保護者・教職員
 回数:各中学校に年間34回派遣。府の派遣。校区の小学校訪問やケース会議などの参加もある。
 ※予約は各中学校に電話

研修募集 スーパーティーチャー研修について

2学期以降も全国でご活躍中のスーパーティーチャーの先生方が吹田市に来られます。

研修番号	募集形態	講師名	形式
130	シリーズ	株式会社 Doit 代表取締役 土井 敏裕	小・中学校
131			「学び続ける教師 × ICT 活用」
132			講演・ワークショップ
122	個別	岐阜聖徳学園大学 准教授 山田 貞二	小・中学校 道徳科 師範授業
133	個別	「授業・人」塾 主宰 田中 博史 関西大学初等部 教諭 尾崎 正彦	講演

さつきらるーむ さつきらるーむ

経験年数の少ない教職員のいろいろな悩みを 個別相談できるところです！

- ◆ 開室時間 午後5時00～午後6時30分（申込時 要相談）
- ◆ 場 所 教育センター他（オンラインでの実施も可能です。申込時に御相談ください。）
- ◆ 対 象 者 初任者教員等 経験年数の少ない教職員 ※複数で相談を希望することも可
- ◆ 対 応 者 教育センター指導主事等
- ◆ 内 容 仕事に関するすべての悩みを相談できます。（授業づくり・学級経営・保護者対応等、何でもOK）
- ◆ 申込方法 メールまたは電話（06-6388-1455）にて申し込みください。

メール送信先 ① 初任者研修担当へ

校支援システムにて、初任者研修担当 宛

② 教育センター代表メールへ s-educ@city.suita.osaka.jp

以下の内容を記入ください。

件 名：さつきらるーむ

本 文：①学校名 ②相談者名 ③希望日時 ④相談内容